

～市民・職員参加による後期基本計画の「振り返りセッション」～

午前①-2 <17票>

テーマ：子供に体験を多くさせたい（心豊かになる）

セッション参加者

セッションリーダー：小林

セッション参加者名：伊原、藤倉、鎌形、山口

人数：計 5名

話し合った内容

- ・子ども同士が学校以外でコミュニケーションをとる機会がほしい
- ・伝統文化を教えられる市民が多く存在する→社会教育課に登録しても依頼が来ない
- ・市川、柏と比較すると文化的に見劣る
- ・物づくりの楽しさを工夫して体験させたい
- ・教室をやりたくても、学校で宣伝してくれない
- ・教える場所や体験を発表する場所がない
- ・教える人はたくさんいるが、事業化できる人がいない（採算性や宣伝する人）
- ・実際に教えている場所を見てもらう

結論：『専門的な分野と運営は市民、行政は後方支援をする』

ぜひ市民と行政の役割分担の見直しや新しい協働に反映させていきたい提案、自分たちが取り組んでみたいアクションプランの候補、他の市民の皆さんや行政への投げかけ、など

市民の役割

- ・ 伝統文化・芸術・ものづくりなどを教える  
(茶道、紙とんぼ)
- ・ 参加費、広報、教室の運営分野を担当  
(リタイアした管理職)

協働



行政の役割

- ・ 会場の確保
- ・ ホームページや広報まつどへの掲載
- ・ 学校でのチラシの配布

～市民・職員参加による後期基本計画の「振り返りセッション」～  
午前①－4 < 5 票 >

**テーマ：河川の快適な生活環境の実現**

**セッション参加者**

セッションリーダー：高橋

セッション参加者名：郡司、大畠

人数： 計 3名

**話し合った内容**

- ・住民参加で河川を大いに活用しよう
- ・市と民の協働で河川を管理する
- ・川から街を見てみよう
- ・地域で清掃のあとコミュニケーション（バーベキュー等）を行う
- ・若い人も大いに参加できるよう工夫する

**結論：**『』

ぜひ市民と行政の役割分担の見直しや新しい協働に反映させていきたい提案、自分たちが取り組んでみたいアクションプランの候補、他の市民の皆さんや行政への投げかけ、など

- ・河川を協働で管理 大いに活用する

～市民・職員参加による後期基本計画の「振り返りセッション」～  
午前①－5 <10票>

**テーマ：**まつどを文化的なまちにするには？

**セッション参加者**

セッションリーダー：向後

セッション参加者名：門倉、大塚、伊東、渡辺、小宮、宇野、山口、入江、足立

人数： 計 10名

**話し合った内容**

○松戸に「文化」はありますか？

文化＝豊かさでしょうか

○文化って何？（誇れるもの）

- ・歴史的なハード、ソフト
- ・市民文化
- ・図書館・公民館・・・ハード

**結論：**『文化は、日頃の市民の活動の中から生まれる！』

ぜひ市民と行政の役割分担の見直しや新しい協働に反映させていきたい提案、自分たちが取り組んでみたいアクションプランの候補、他の市民の皆さんや行政への投げかけ、など

～市民・職員参加による後期基本計画の「振り返りセッション」～

午前①－7 <7票>

**テーマ：財政と災害について**

**セッション参加者**

セッションリーダー：橋本

セッション参加者名：高村、佐々木、柴崎、太田、丸田

人数： 計 6名

**話し合った内容**

- ・市のお金（財政）について、市民にわかりやすく、更なる情報公開の工夫を（お金の効率化が見えないので、見えるように）
- ・現在の市では、災害をどのように想定していますか
- ・災害（特に地震）は防げないので、発生した時、市民のための対策をお願いする
- ・行政は、タイムリーな多種多様の災害時の情報提供を行い、市民は其中で自分に適した情報媒体から情報を得られるようにして欲しい
- ・市の防災計画をもっと市民（来街者、観光者等も含め）の身近なところで観られる（情報を得られる）ようにしてもらいたい

**結論：『**

**』**

ぜひ市民と行政の役割分担の見直しや新しい協働に反映させていきたい提案、自分たちが取り組んでみたいアクションプランの候補、他の市民の皆さんや行政への投げかけ、など

～市民・職員参加による後期基本計画の「振り返りセッション」～

午前①－８ < 20票 >

**テーマ：住み良い魅力の“まちづくり”**

#### セッション参加者

セッションリーダー：伊藤

セッション参加者名：堤、三澤、深野、関

人数： 計 5名

#### 話し合った内容

愛する“まつど”づくり（市職員、市民のパワー）

- 1 魅力をアピールする
  - ・地域の魅力を掘り起こす“まちづくり” ↔ ・利便性を生かす
  - ・文化、歴史、里山などの魅力
  - ・東京から脱皮で松戸の特徴を出す
- 2 子どもの関わりが団体をつなぎ、活動を活性化
  - ・子ども対象の魅力めぐりなどイベントの実施（文化、歴史、里山など）
- 3 人が訪ねてくる“まちづくり” →観光づくり
  - ・まつどの魅力（文化、歴史、里山など）を発信（めぐりのコース認定）
- 4 行政、市民の壁を越えた政策づくり

**結論：『人が訪ねてくる魅力の“まちづくり”を推進』**

ぜひ市民と行政の役割分担の見直しや新しい協働に反映させていきたい提案、自分たちが取り組んでみたいアクションプランの候補、他の市民の皆さんや行政への投げかけ、など

人が訪ねてくる“まちづくり”

文化、歴史、里山の魅力を発信

～市民・職員参加による後期基本計画の「振り返りセッション」～  
午前②－1＜24票＞

**テーマ：松戸に道の駅を作ろう！**

#### セッション参加者

セッションリーダー：岩橋

セッション参加者名：三木、伊藤、林、加原、横山、山下、古宮、堀内、三宅

人数：計 10名

#### 話し合った内容

- ・農業の振興と活性化
- ・松戸の観光資源を有効に使おう
- ・地場産業の活性化
- ・市外からの集客
- ・松戸市の存在を広く知ってもらう
- ・美味しい食事とのコラボレーション
- ・就業率上げる
- ・家族で一日を楽しく過ごせる場とする
- ・駅からシャトルバスを走らせる

**結論：『矢切地区に道の駅を作ろう！！』**

ぜひ市民と行政の役割分担の見直しや新しい協働に反映させていきたい提案、自分たちが取り組んでみたいアクションプランの候補、他の市民の皆さんや行政への投げかけ、など

市民が「道の駅を作る会」を立ち上げ、行政が積極的に支援する

～市民・職員参加による後期基本計画の「振り返りセッション」～

午前③－1 < 2票 >

**テーマ：子どもの生きる力を育む環境づくり**

**セッション参加者**

セッションリーダー：三浦

セッション参加者名：齊藤、保坂

人数： 計 3名

**話し合った内容**

- ・生きる力＝自分の本音を伝えることができる→大人ができる？大人の本音を話せる場所が必要
- ・子育て支援など小さな活動をしている団体も、活動を維持できるしくみづくり
- ・子育て中の親がともに学べる、語りあえる場所づくり
- ・様々な活動をしている団体の交流（本音の語り合い）ができるように

**結論：『結論までは出ず・・・』**

ぜひ市民と行政の役割分担の見直しや新しい協働に反映させていきたい提案、自分たちが取り組んでみたいアクションプランの候補、他の市民の皆さんや行政への投げかけ、など

（公的な）空き教室などの有効活用→定期的な貸し出しなど

～市民・職員参加による後期基本計画の「振り返りセッション」～

午前③－２＜９票＞

**テーマ：**学校が楽しいという子どもがいっぱいの松戸をつくる

#### セッション参加者

セッションリーダー：海老名

セッション参加者名：堀、西村、河野（佳）、星

人数： 計 ５名

#### 話し合った内容

- ・授業は楽しい子どもたち（先生の努力）しかし学校は楽しいか
- ・楽しくするには
  - 1 夢がない子どもに、いいところを見つけほめる
  - 2 意見を出しあう（ディベート）つけたしとかゆずる気持ち
  - 3 地域がかかわる 親の悩みをきく、親への研修など

#### 結論：『親の笑顔、元気が子どもを育む』

ぜひ市民と行政の役割分担の見直しや新しい協働に反映させていきたい提案、自分たちが取り組んでみたいアクションプランの候補、他の市民の皆さんや行政への投げかけ、など

- ・親対象に親対策の研修等を開催する
- ・今出来ること、既存の組織の活用



～市民・職員参加による後期基本計画の「振り返りセッション」～  
午前④－1 <10票>

## テーマ：少子高齢化について

### セッション参加者

セッションリーダー：齊藤

セッション参加者名：清水

人数：計 2名

### 話し合った内容

- ・高齢者が安心して住める街づくり
- ・若者に松戸に来てもらいたい→活性化
- ・子育てしやすいまちに、情報提供（ファミリーサポートなど）
- ・空地、空き家をいかす（柏方式）
- ・3人目、4人目の子どもには、補助をあつく

**結論：**『魅力ある街づくりによって若年層を増やし、希望ある未来  
へ（税収の安定） 少子高齢化はこれからの最重要な問題で  
あります』

ぜひ市民と行政の役割分担の見直しや新しい協働に反映させていきたい提案、自分たちが取り組んでみたいアクションプランの候補、他の市民の皆さんや行政への投げかけ、など

～市民・職員参加による後期基本計画の「振り返りセッション」～

午前④－２ < 12票 >

テーマ：顔の見える街づくり

#### セッション参加者

セッションリーダー：平賀

セッション参加者名：中川、山口、大塚

人数： 計 4名

#### 話し合った内容

- ・町の行事（まつり、もちつき）、子供会、青年会（クラブチーム）、長寿会の仲間たちが、それぞれの分野で活動しています。その中から、町の愛着や町の誇り（次世代の育成に結びついてくるのではないのでしょうか）などが生まれてくるのではないかと、
- ・その活動から連帯感などが生まれ、地域の防災防犯などに結び付いて来る。
- ・自分たちの持ち味を生かした「場」を作っていくことも大切か。

#### 結論：『

』

ぜひ市民と行政の役割分担の見直しや新しい協働に反映させていきたい提案、自分たちが取り組んでみたいアクションプランの候補、他の市民の皆さんや行政への投げかけ、など

①防災、防犯の面で、行政の情報開示を必要とする場合は協力をお願いしたい

②市内の放棄地を活用し、再生可能エネルギーを「市民力」で推進してほしい

③市民の力では達成できない部分について、ぜひ行政の協力をお願いしたい

～市民・職員参加による後期基本計画の「振り返りセッション」～

午前④－3 <16票>

**テーマ：誰でもいつでも利用できるコミュニティサロンの設置**

#### セッション参加者

セッションリーダー：市川

セッション参加者名：喜久村、三枝、荒、秋庭

人数：計 5名

#### 話し合った内容

- ・いつでも誰でも利用できる場所の確保 空教室、空家等の活用
- ・中高年の知識、経験の活用
- ・子ども、子育て世代との交流
- ・安定した運営資金の確保
- ・世話役
- ・地域の活性化

#### 結論：『家庭以外の安心して過ごせる場所』

ぜひ市民と行政の役割分担の見直しや新しい協働に反映させていきたい提案、自分たちが取り組んでみたいアクションプランの候補、他の市民の皆さんや行政への投げかけ、など

～市民・職員参加による後期基本計画の「振り返りセッション」～  
午前④－6＜20票＞

**テーマ：町会等の役員になり手がいない**

#### セッション参加者

セッションリーダー：坂田

セッション参加者名：稗田、平松、佐藤、小幡、沼邊、後藤、山崎、大塚

人数： 計 9名

#### 話し合った内容

- 現状
- ・高齢者が仕事を持っている
  - ・経済的負担が大きい
  - ・集団になじめない
  - ・趣味を優先したがる
  - ・民生委員など準公務員的な立場に金銭的支援が少ない
  - ・市政協力委員の役割が不明確（町会長との関係）
  - ・任期が長くなりがちである
- ・潜在的な人材を見つけ出す努力をしていく
  - ・地域社会の団体のあり方などに市としてのモデルや財政的支援を考えてもらう
  - ・今の時代に合った町会等の地域のあり方を考えていく

**結論：『地域に必要な町会について、もっと議論することが必要である』**

ぜひ市民と行政の役割分担の見直しや新しい協働に反映させていきたい提案、自分たちが取り組んでみたいアクションプランの候補、他の市民の皆さんや行政への投げかけ、など

～市民・職員参加による後期基本計画の「振り返りセッション」～  
午後①－２ < 9 票 >

**テーマ：** 自助と公助との間をどのようにつなぐか

#### セッション参加者

セッションリーダー：山崎

セッション参加者名：保坂、関、太田

人数： 計 4名

#### 話し合った内容

- ・ 共助の必要性を感じない人をどうするか
- ・ 共助のエリアの諸団体をどのように活性化するのか（共助への参加を促すきっかけづくり 子どもとかかわりのない人の取り組み）
- ・ 共助の必要性を感じてもらうには→危機に直面させる 一斉防災訓練（シェイクアウト）
- ・ 共助の役割をになう団体間の連携→松戸市で企画中 地域のしくみづくり検討・検証委員会（傍聴可）

**結論：**『ひとりひとりが共助の必要性を自覚していこう！！』

ぜひ市民と行政の役割分担の見直しや新しい協働に反映させていきたい提案、自分たちが取り組んでみたいアクションプランの候補、他の市民の皆さんや行政への投げかけ、など

～市民・職員参加による後期基本計画の「振り返りセッション」～

午後①-4 <32票>

**テーマ：地域コミュニティを活性化するには**

#### セッション参加者

セッションリーダー：星

セッション参加者名：大畠、大塚、市川、坂田、佐藤、山口、稗田、伊原、横山

人数： 計 10名

#### 話し合った内容

○町会、自治会

- ・共働き、少子高齢化で参加者が少ない
- ・若い人の危機感が無い

○小さいコミュニティの連絡系統の形成

○集まる場として楽しく居心地の良い所（カフェ、テント小屋、常盤平ふれあいサロン）  
異世代交流

○子ども達から意識づけ

#### 結論：『日頃からの交流の継続』

ぜひ市民と行政の役割分担の見直しや新しい協働に反映させていきたい提案、自分たちが取り組んでみたいアクションプランの候補、他の市民の皆さんや行政への投げかけ、など

- ・自治会長、ボランティア養成講座の開催
- ・行事への市職員の積極的参加
- ・行政からの支援（小さいコミュニティの連絡系統の形成）

～市民・職員参加による後期基本計画の「振り返りセッション」～  
午後①－6 <24票>

## テーマ：財政の健全化

### セッション参加者

セッションリーダー：齊藤

セッション参加者名：堤、堀、小幡、向後、門倉、柴崎、大塚、小宮、入江、宇野

人数：計 11名

### 話し合った内容

- 「健全化」とは何でしょうか？  
支出抑える／収入増やすだけではない
- 働きざかりの市民→住み続けるまち（世代を超えて）  
まちの魅力UP！！
  - ・団地、工場、松戸駅、商店街→活性化
  - ・ソフト面（地域コミュニティ）

## 結論：『道は遠いが・・・松戸市を魅力ある街に』

ぜひ市民と行政の役割分担の見直しや新しい協働に反映させていきたい提案、自分たちが取り組んでみたいアクションプランの候補、他の市民の皆さんや行政への投げかけ、など

～市民・職員参加による後期基本計画の「振り返りセッション」～

午後②-1 <12票>

**テーマ：**若年層のキャリア形成支援をする場、互いに話し合いと共有化する場を拡げよう

#### セッション参加者

セッションリーダー：河野

セッション参加者名：三澤、古宮、平松

人数：計 4名

#### 話し合った内容

- 1 現状認識
  - ・就労支援は受けるが若者自身のキャリア意識が充分でない（全国的）
- 2 松戸で考えると
  - ・松戸都民（便利過ぎる）
  - ・地に足が着いた生活ができていない
- 3 小中学生の職場密着体験をする際、地元での働く姿が見える所
- 4 キャリア形成をする上で地元で体験できるお店、事務所があると良い
- 5 市の就労関係施策のPR不足

#### 結論：『松戸でキャリア形成をでき、就労できる場づくり』

ぜひ市民と行政の役割分担の見直しや新しい協働に反映させていきたい提案、自分たちが取り組んでみたいアクションプランの候補、他の市民の皆さんや行政への投げかけ、など

- ・市縦割り組織でなく、教育、商工、農政、観光 横断の連携で進める
- ・市民、事業所、行政のパートナーシップとして本中期計画を取り上げてもらう



～市民・職員参加による後期基本計画の「振り返りセッション」～  
午後③－1 < 6 票 >

**テーマ：市内就業市民を増やす産業振興**

**セッション参加者**

セッションリーダー：林

セッション参加者名：加藤 高村

人数： 計 3名

**話し合った内容**

- ・通勤の短縮
- ・男女職、家庭作業の分担
- ・特産品のPR
- ・集客、動線誘導のためのIT
- ・松戸市内拠点のイベント、ブランドコンテンツ生産PR（ソフト、サービス）
- ・河川の天然資源回復の技術開発支援
- ・次世代経営者育成支援
- ・高速アクセスをフォローする交通改善
- ・素材（未利用）の探索
- ・空き公共（学校）、民間不動産利用→起業支援

**結論：『特産品・技術開発 交通アクセスの行政協力**

**地域イベントのための機会支援**

**製作企業のソフト支援、スペース確保』**

ぜひ市民と行政の役割分担の見直しや新しい協働に反映させていきたい提案、自分たちが取り組んでみたいアクションプランの候補、他の市民の皆さんや行政への投げかけ、など

～市民・職員参加による後期基本計画の「振り返りセッション」～  
午後③－２ < ４票 >

**テーマ：高齡化社会の活性化を考える（生きがい、出番作り）**

**セッション参加者**

セッションリーダー：藤倉

セッション参加者名：岩橋、三宅、沼邊

人数： 計 ４名

**話し合った内容**

- ・ある程度若い頃から地域デビューする準備
- ・地域社会のしくみを作り直す
- ・松戸市として老人パワーを有効に使う必要があるのではないか
- ・理想としては若い人達の支援に老人のパワーを使う
- ・家にこもっていると社会性、身体機能の低下を招く 問題は独居老人である

**結論：『退職後の老人（男性）をいかに社会参加する手助けする仕**

**組み作り重要』**

ぜひ市民と行政の役割分担の見直しや新しい協働に反映させていきたい提案、自分たちが取り組んでみたいアクションプランの候補、他の市民の皆さんや行政への投げかけ、など

・老人（退職後の男性）の活性化を図ることが、地域活性化にとって必要ではないか。そのため例として、男性の料理教室を開催する。そのため、小学校の教室を開放する等、行政側の協力が必要である。

～市民・職員参加による後期基本計画の「振り返りセッション」～

午後④-2 <26票>

**テーマ：地域の高齢者を大いに利用しよう**

#### セッション参加者

セッションリーダー：郡司

セッション参加者名：坂田、三木、鎌形、伊東、深野、斉藤、中野、堀内、西村、秋葉、  
伊藤、丸田

人数： 計 13名

#### 話し合った内容

- ・ 高齢者には「知恵」「経験」「時間」がある 生かすためには
  - ①行政も関わったマッチング（登録制度）支援を待っている人もいる！
    - ・ 生かせるシステムづくり
  - ②市民主体、眠っている人材の掘り起こし（クラブ活動）
    - ・ 仲間づくり
- ・ 社会参画することで、高齢者自身の生きがい 若者等にも良い影響

**結論：『高齢者の力で、愛する松戸をもっと良くしよう！』**

ぜひ市民と行政の役割分担の見直しや新しい協働に反映させていきたい提案、自分たちが取り組んでみたいアクションプランの候補、他の市民の皆さんや行政への投げかけ、など

～市民・職員参加による後期基本計画の「振り返りセッション」～  
午後④－3 <18票>

**テーマ：**子育て世代が住みやすいまちにするには

#### セッション参加者

セッションリーダー：荒

セッション参加者名：佐々木、三枝、山下

人数： 計 4名

#### 話し合った内容

- ・通学路の安全 歩道 除染
- ・おじいちゃん、おばあちゃんと交流する場
- ・保育所、放課後児童クラブの拡充と経済的支援 人材活用
- ・子育て世代に魅力ある場所づくり 道の駅、ショッピングモール

#### 結論：『子育て支援日本一宣言の松戸』

ぜひ市民と行政の役割分担の見直しや新しい協働に反映させていきたい提案、自分たちが取り組んでみたいアクションプランの候補、他の市民の皆さんや行政への投げかけ、など

すぐやる課なみの実行力を！

～市民・職員参加による後期基本計画の「振り返りセッション」～

午後④－5 <11票>

**テーマ:**次世代へのバトンタッチ バトンを渡す バトンを受取る

#### セッション参加者

セッションリーダー：清水

セッション参加者名：斉藤、後藤、三浦

人数： 計 4名

#### 話し合った内容

- ・平和でバトンタッチしたい
- ・生命いのちの大切さを伝えたい（戦争体験も）
- ・財産をとるか？自由をとるか？
- ・若い人の意見も聞きたい
- ・世代間交流をもっと実行する場づくり

**結論：**『財産などではなく、平和、生命いのちの大切さを次世代にうまく伝えたい』

ぜひ市民と行政の役割分担の見直しや新しい協働に反映させていきたい提案、自分たちが取り組んでみたいアクションプランの候補、他の市民の皆さんや行政への投げかけ、など

～市民・職員参加による後期基本計画の「振り返りセッション」～  
午後④－6 <13票>

**テーマ：文化・歴史の魅力を発信しよう**

**セッション参加者**

セッションリーダー：伊藤

セッション参加者名：渡辺、坂本、中川、平賀、小林、山口

人数： 計 7名

**話し合った内容**

- ・文化、歴史など魅力は自ら掘り起こす（行政、市民）  
    魅力は複合分野で探そう（文化、歴史、里山、景観、まつり、郷土芸能など）
- ・松戸の魅力を大いに近隣へ発信し、人を呼べる都市にする  
    発信のステーションを置く（商店、寺社、その他）に場所の協力を戴く
- ・伝統文化が消えないよう体験できる場が欲しい  
    大人、親子、学校、クラブ活動でも
- ・観光マップ、駅、市民センター・図書館に置く
- ・行政、市民の特長を生かした推進プロジェクト化
- ・各駅に観光案内版の設置

**結論：**『』

ぜひ市民と行政の役割分担の見直しや新しい協働に反映させていきたい提案、自分たちが取り組んでみたいアクションプランの候補、他の市民の皆さんや行政への投げかけ、など

ガイドの育成講座等の協働事業